

# 令和3年度 第2回千葉市立博物館協議会

日時 令和4年3月11日(金)  
13:30~15:00  
場所 千葉市立郷土博物館 講座室

## 次 第

1 開 会

2 部 長 挨 拶

3 議 題

(1) 令和4年度の予算(案)と事業予定について

(2) その他

4 閉 会

### 3 議題

- (1) 令和4年度の予算(案)と事業予定について  
→次ページから

- (2) その他

議題1 令和4年度予算（案）と事業予定について

加曽利貝塚博物館

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通年	加曽利貝塚博物館施設の管理業務委託を実施。 ①警備委託 ②清掃委託 ③草刈業務委託 ④設備関係保守委託他
	イ 設備改修事業	通年	設備の改修を実施。 ①消防設備修繕他
	当初予算額	29,659千円	(29,258千円) ※( )はR3予算額以下同じ
(2) 資料収集保管事業	ア 資料の収集	通年	寄贈・寄託資料の受け入れを行う。 考古学に関する専門図書の購入。
	イ 資料の整理保管	通年	収蔵資料の再整理作業、デジタル化を行う。 また、他の博物館等の求めに応じて、資料や写真の貸出を行う。
	当初予算額	90千円	(75千円)
(3) 調査研究事業	ア 縄文文化調査研究	通年	収蔵資料や展示、教育普及に関する調査研究を行う。
	イ 『博物館紀要』の発行	通年	『博物館紀要』第49号の発行 650部
	当初予算額	408千円	(487千円)
(4) 展示事業	ア 常設展	通年	「加曽利貝塚から縄文時代の貝塚をみる」 常設展示①「貝塚を知る」 常設展示②「発掘された加曽利貝塚」 常設展示③「加曽利貝塚の歴史」
	イ 企画展	4/12～7/3 5/31～8/3 7/16～9/4 9/21～11/6 9/21～11/6 11/22～2/19 3/7～(5/14)	特別史跡加曽利貝塚令和3年度発掘速報展 初夏パネル展（内容未定） 夏の企画展（内容未定） 秋の企画展（戸村氏土器製作などに関する展示） 県内縄文遺跡展（千葉県内の縄文時代の遺跡紹介） あれも E これも E-加曽利 E 式土器（内房編）－ 特別史跡加曽利貝塚令和4年度発掘速報展
	当初予算額	715千円	(358千円)

(5) 教 育 普 及 事 業	ア 縄文ひろば	毎月第2・ 第4日曜日	史跡内見学案内、火おこし体験、アングイン編み、貝のアクセサリーづくり、縄文服の試着体験などを実施。 ※学校見学集中期間・夏休み中・年末年始は開催しない予定。
	イ 縄文春まつり  ※ミニイベント	5月4・5日  夏8月14日 秋11月13日 冬2月26日	縄文時代のくらしなどについての体験や学びを通して市民に楽しんでもらう集客イベント。スマートグラスを利用したAR体験、加曽利クエスト（スタンプラリー）、学芸員による解説、物販などを行う。 ミニイベントでは、体験プログラム主体で実施。 ※夏以降は、便益施設建設中のため、ミニイベントとして規模縮小、分散実施。
	ウ 自然観察ワーク ショップ	5月21日 1月14日	加曽利貝塚周辺に生息している動植物の特徴や生態などについて学ぶワークショップ。 対象：小3以上 定員：各回30人 事前募集
	エ 土偶づくり講座	5月14・28 日	土偶づくりを通して縄文人の技術や知恵を体験。 対象：一般 定員：8人 事前募集
	オ 考古学講座 (研究者向け)	10月15日	考古学の新たな研究法を模索するため、考古学の研究者を招き、博物館学芸員と共に講義を行う。研究者・上級者向けの講座。 対象：一般 定員：80人 事前募集 会場：生涯学習センター 2階ホール
	カ 加曽利ウォーク	10月29日	市内の文化財や遺跡を徒歩で巡る。 (緑区・若葉区にて実施予定) 対象：小5以上※小学生は保護者同伴 定員：15人 事前募集
	キ 縄文時代研究講座	12月17日 12月24日 1月14日 1月28日 2月4日 2月18日	縄文時代をテーマにした講義を行う。 対象：一般 定員：各回30人 事前募集 会場：生涯学習センター 地下小ホール
	ク 考古学基礎講座	3月12日	考古学を知りたい方に向けた基礎的な講義を行う。 初心者から中級者向けの講座。 対象：一般 定員：40人 事前募集 会場：生涯学習センター 3階大研修室
	ケ 職場体験の受け入れ	通 年	市内外の中学校等からの要望を受け、職場体験の機会を提供する。
	コ 博物館実習の受け入れ	7月28日～ 8月5日	学芸員課程履修学生の実習受け入れ。 資料の整理、資料の取り扱い、展示資料の作成や展示作業などを行う。

	サ 博物館ボランティアの育成・活用	通 年	博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。 募集：5月 基礎研修：7月（全6回※4日間） 専門研修：9月7日～9月11日（全6回）
	当初予算額	21,968千円	(21,457千円)
(6) その 他	ア 日本博物館協会	日程未定	全国博物館長会議（未定）
	イ 千葉県博物館協会	日程未定	総会（未定）
	当初予算額	45千円	(45千円)
	合計 予算額	52,885千円	(51,680千円)

### 特別史跡加曽利貝塚 史跡等の整備（文化財課）

来場者の利便性向上を図るために施設整備を進めるとともに、新しい博物館の整備に着手する。

当初予算額242,000千円（226,000千円）

#### (1) 便益施設新築工事

学校をはじめ、80名程度の団体見学利用者の昼食や休憩、体験学習など多目的での利用が可能な休憩スペース、多機能トイレを備えた施設を現博物館脇に新たに整備する。令和3年度に工事を予定していたが、入札不調のため、改めて令和4年度に発注・施工する。

#### (2) 復元住居製作設置

復元集落エリアで縄文時代の竪穴住居1棟を新たに復元する。令和3年度に既存上屋の解体・撤去、周堤の盛土等の周囲土工を実施しており、令和4年度は引続き、木組みから茅葺まで行う。

#### (3) 新博物館の整備

令和4年2月に策定した「特別史跡加曽利貝塚新博物館基本計画」に基づき、新たな博物館の整備に着手する。令和4年度は、整備・運営事業者の選定に向けたアドバイザー業務を委託するほか、整備用地の現況測量や地質調査など、要求水準書の作成に必要な業務を行う。

郷土博物館

	事業内容	実施期間	説明
(1) 維持管理事業	ア 維持管理事業	通 年	郷土博物館施設の管理業務委託の実施 ①警備委託 ②清掃委託 ③エレベーター等設備関係 保守委託他
	イ 5階展望等改修 工事	通 年	・展望室（5階）眺望改善改修工事 ・事務室避難経路工事 ・階段手摺設置工事
	ウ 展示リニューアル 調査検討	通 年	展示リニューアル調査検討業務委託
	当初予算額 45,146千円 (20,833千円) ※( )はR3予算額以下同じ		
(2) 資料収集 保管事業	ア 資料の収集	通 年	寄贈・寄託等により、展示・研究等に必要な資料の収集を行う。
	イ 資料複製製作	通 年	現在、原本を展示している市指定文化財である「原文書」の複製を製作する。
	ウ 資料の整理保管	通 年	収蔵資料の再整理作業を行う。カードの再確認、資料のデジタル化を行う。 また、他の博物館等の求めに応じて、資料や写真の貸出を行う。
	エ 新規収蔵資料 燻蒸	12 月	新たに寄贈、寄託等を受けた資料の燻蒸を行う。
	オ 収蔵庫・展示室 等環境調査	10月、2月	博物館内の有害虫の有無、浮遊菌類の採取、空気汚染 温湿度、照度などの測定を行い、資料保全上特に問題となる要素を把握する。
	当初予算額 3,099千円 (5,153千円)		
(3) 調査研究 事業	ア 館内調査研究	通 年	収蔵資料や展示、教育普及に関する調査研究を行う。
	イ 千葉市民俗資料 調査	通 年	高度経済成長期以前の千葉市における生活の様子を聞き取り調査や民俗資料を収集することによって記録・保存する。
	ウ 千葉氏関係資料 調査	通 年	各地に残されている千葉氏に関する資料や情報を収集調査する。
	エ 『研究紀要』の 発行	3 月	『研究紀要』第29号の発行 1,000部
	当初予算額 1,644千円 (1,644千円)		

(4) 展 示 事 業	ア 常設展	通 年	千葉市に関わる歴史資料の展示 1階 歴史年表、千葉市域の城郭遺跡、季節の展示や民俗に関するミニ展示など。 2階 所蔵資料にみる日本の武器・武具 天文資料コーナー ※特別展期間中は撤収 3階 千葉氏の興亡と妙見信仰 4階 近現代の千葉 5階 展望室（パネル展示など）
	イ 特別展	10月18日 ～12月11日	「戦国期千葉氏とその周辺勢力 ―小弓公方足利義明とその時代―」（仮称） 戦国時代、千葉市内に「公方」と呼ばれる人物がいたことを知らない人も少なくない。その生実公方足利義明を紹介しつつ、同時期の千葉氏の動きなどについて展示する。
	ウ 企画展	8月30日～ 10月16日  5月19日～ 7月12日	「甘藷先生の置き土産 ―青木昆陽とさつまいも―」（仮称） 青木昆陽の試作により始まった当地の薩摩芋栽培について、その後の展開も含めて展示する。  千葉氏関係パネル展「千葉常胤と13人の御家人たち（北関東編）」  他、考古資料展等を予定
	当初予算額 1,655千円 (1,655千円)		
(5) 学 習 支 援 事 業	ア 体験学習	隔月第3土 曜日	中世の鎧や直垂、桂、小袖、近世の袴（いずれも複製）などを着用し、衣装の歴史と当時の生活について学ぶ 対 象：身長135cm以上の人 定 員：各回15人 ※状況を見て再開（4月は中止）
	イ 出前授業、館内学習	通 年	エドューケーターの指導により、出前授業や館内学習を行う。
	ウ 夏休み郷土史講座	7月20 ・22日	小・中学生を対象とした郷土史について学ぶ講座 対 象：小学4～6年生・中学生（定員未定）
	エ 火縄銃演武	8月21日	火縄銃の実射（空砲）を行う。銃の現物資料や鉄砲隊の装束、撃ち方などを間近で見学し、歴史理解を深める。
	オ 歴史散歩	1～2月	郷土博物館周辺の史跡や文化財などを訪ねて、見学と解説を行う。募集定員：未定

	カ 鎌倉騎馬武者体験	11月	鎌倉時代の武士が用いた大鎧などを着用して乗馬体験を行う。
	キ 歴史講座	11月～12月	郷土の歴史を中心に、日本史の諸問題や最新の研究成果をわかりやすく解説する。 千葉経済大学との共同開催。
	ク 千葉氏関係講座	6月、12月	千葉氏の歴史に関する市民向けの講座を実施する。 12月は千葉大学との共同開催。
	ケ まんが「千葉常胤公ものがたり」の増刷	6月	まんが「千葉常胤公ものがたり」を印刷し、市内の学校へ配布する。(市内全小学校6年生向け)
	コ 職場体験の受入れ	通年	市内の中学校からの要望に対応し、職場体験の機会を提供する。
	サ 博物館実習の受け入れ	8月17日～25日	学芸員課程履修の学生の実習を受け入れる。 資料の整理、資料の取り扱い、講座運営の補助、展示資料の作成や展示作業などを行う。
	シ 博物館ボランティアの育成・活用	通年	博物館の業務を支えるボランティアを育成し、博物館活動の充実を図る。 基礎講座：6月、専門講座：10月～1月
	当初予算額	3,746千円	(4,045千円)
(6) 市史編さん事業	ア 市史編さん資料調査	通年	千葉市域に関係する歴史資料の調査を行う。 ①千葉市域関係史料 ②『史料編 近現代』関係資料
	イ 史料編の編集	通年	次年度の刊行に向けて『千葉市史 史料編 近現代』第2巻目(大正～戦前)の編集・校正作業を行う。
	ウ 千葉市史研究講座	9月24日 10月8日	「千葉市史」等をもとに、市域の歴史的事柄を取り上げて史料に基づく歴史を平易に解説する。 対 象：市民(定員未定)
	エ 初級古文書講座	未定	古文書の解読を通じて、江戸時代の郷土を理解する。 対 象：市民(定員午前・午後とも未定) テーマ：江戸時代の村の史料を読む
	オ 中級古文書講座	未定	初級古文書講座に比べ、より高度な理解力と、文章把握能力を身につける。 テーマ：江戸時代の村の史料を読む 全6回
	カ ニュースレターの発行	9月、3月 年2回	ニュースレター「千葉市史編さんだより」の発行 千葉市史編さんの状況を紹介するため発行。現在の事業内容、講座案内、資料紹介などを掲載する。
	キ 『千葉いまむかし』の発行	3月	『千葉いまむかし』36号の発行 千葉市域や関連地域に関する論文、史料の紹介、市史編さん事業の記録などを掲載する。
	当初予算額	3,994千円	(9,422千円)

(7) 協 議 会 そ の 他	ア 千葉市立博物館 協議会	8月、3月頃	2回開催予定
	イ 千葉県博物館協会	日程未定	総会（千葉県立中央博物館）
	ウ 関東博物館協会	日程未定	総会（会場未定）
	エ 日本博物館協会	日程未定	全国博物館長会議（会場未定）
	オ 全国歴史民俗系 博物館協議会	日程未定	全国博物館大会 年次集会
当初予算額 220千円 （220千円）			
合計 予算額 59,504千円 （42,972千円）			

## 【博物館法】

(博物館協議会)

第二十条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

## 【千葉市立博物館設置条例】

(博物館協議会)

第3条 法第20条第1項の規定に基づき、千葉市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10人以内で組織する。

3 法第21条の規定による委員の任命は、次に掲げる者のうちから行うものとする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

千葉市立博物館協議会委員 名簿

任期：令和3年1月9日～令和5年1月8日

委員名	現職など	専門分野
はぎわら つかさ 萩原 司 (委員長)	元千葉市立大森小学校長 元千葉市教育史編纂事業事務局長	教育史
こじま みちひろ 小島 道裕 (副委員長)	国立歴史民俗博物館研究部教授（歴史研究系）	日本中近世史 博物館教育
すずき かずひこ 鈴木 一彦	千葉大学講師	博物館学 博物館経営
ひろた なおゆき 広田 直行	日本大学生産工学部建築工学科教授	コミュニティ施設計画 公共施設再編計画
こばやし さおり 小林 さおり	千葉市立稲浜小学校校長	学校教育

令和4年3月現在